



図書だより

2021年(令和3年)12月
一ツ橋中学校図書館

冬休みの貸し出しについて

2021年も残すところあと数週間になりました。今年はどんな本と出会うことができましたでしょうか？また、どんな本が一番心に残りましたか？来年はどんな本に出会えるのか楽しみです。冬休みの本の貸し出しについてお知らせします。

☆今借りている本は **12月13日(月)**までにすべて返却してください。

☆冬休みの本の貸し出しは **12月15日(水)**からです。

☆返却期日は **1月12日(水)**です。



12月4日～10日は人権週間

1948年の国連総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して始めました。宣言には、すべての人間は差別されてはならないことや基本的人権が守られなければならないことが定められています。10日は「世界人権デー」です。



『跳びはねる思考 会話のできない自閉症の僕が考えていること』

東田直樹・KADOKAWA
会話ができない著者の「考える喜び」に満ちた清冽なエッセイ。生きることの本質を捉えた一冊。



『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』
ブレイディみかこ・新潮社

ジェンダーに悩むサッカー小僧、貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり。等身大のノンフィクション



『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2』
ブレイディみかこ・新潮社

スタートアップについて学ぶ授業、自分の歌声で人種の垣根を超えたソウルクイーン、ノンバイナリーの教員たち、まるで世界の縮図のような日常。



文化委員おすすめの本



図書室では文化委員の作成したPOPで掲示中です！



『君の臍臓をたべたい』

住野よる・双葉社

「共病文庫」という日記がきっかけで仲良くなる2人。とある日、彼女は突然いなくなってしまう。このタイトルの本当の意味とは？

文化委員



『意味が分ると震える話』

藤白圭・河出書房新社

ひとつの話が短く、簡単なまとまりになっています！

この本は、人間の本能の間をついたまったく新しいホラー小説です。興味があったらぜひ読んでみてください。



文化委員



『ざんねんないきもの辞典』

今泉忠明・高橋書店

手軽に読める!!知っていたら学校でちょっと自慢できる豆知識がたくさん書いてあります!!動物に関するクスッと笑えることや少し悲しいこと、とても面白い本です。ぜひ読んでみてくださいね。

文化委員



『東京喰種』

十和田シン・集英社

喰種が集まる喫茶「あんていく」には、今日も様々な葛藤と事件が集う。店長・芳村が察した、不審人物の影。それは、狩る存在と、狩られる存在、決して、変わらない2つの種族の間に、どんな闇を落とすのか。

文化委員

